

# 自転車防犯登録のポイント

NO. 1

## 防犯登録カードの記載漏れと記載ミス

### 1 外国人の場合でもフリガナが必要です。

氏名は県警の電算にフリガナで入力されます。

外国人の方でも、フリガナが無い場合は登録出来ませんので注意してください。

例

マイケル	ジャクソン
Michael	Jackson

- 有名なマイケルジャクソンですが、ミシェールジャクソンとも読めます。
- 要は、本人が発音するとおりにフリガナを付けてください。本人が「自分はマイケルジャクソン」と言えば、「マイケルジャクソン」とフリガナを付し、本人が「自分はミシェールジャクソン」と言えば「ミシェールジャクソン」とフリガナを付してください。
- 外国人のように、日本語によるフリガナの記載が困難な方は、店舗にてお客様から発音を聞き取って、記載してあげてください。

### 2 日本人の場合でもフリガナは必ず、必要です。

前記のとおり、氏名は県警の電算にフリガナで入力されます。

例

?	?
東	浩司

- 「東」という字は「ひがし」「あずま」と読めます。又「浩司」は「こうじ」「ひろし」と読めるので、フリガナが無いと、電算に登録できません。

### 3 防犯登録番号の誤記載

カードに記載する番号と実際に自転車に貼付する防犯登録証の番号の突き合わせを十分に行ってください。

番号の間違ったカードをお客様に交付すると、

- 自転車が盗まれた場合、間違った防犯登録番号で盗難手配がされます。
- 自転車が自治体に撤去された場合に、保管通知がお客様に届きません。

当連合会から交付を受けた防犯登録証1枚と、その登録番号を記載した登録カード1枚をセットにして保管する方法(あらかじめ、クリップ等でとめる)で、こうしたミスを防止することができます。